

2026年4月10日

Honda の電動モーターサイクル「Honda WN7」、 モビリティロボット「UNI-ONE」が 2026 年レッド・ドット・デザイン賞 プロダクトデザイン部門において最高賞「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞

Honda の電動モーターサイクル「Honda WN7 (ホンダ ダブルエヌセブン)」、モビリティロボット「UNI-ONE (ユニワン)」が、「レッド・ドット・デザイン賞^{※1}」のプロダクトデザイン部門において最高賞「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しました。また、スペシャルティ・スポーツ・ハイブリッド「PRELUDE (プレリュード)」、ロボット芝刈機「Miimo (ミーモ) 1500i/2200i」が、同部門において「レッド・ドット賞」をそれぞれ受賞しました。



Honda WN7



UNI-ONE



PRELUDE



Miimo 1500i/2200i

【製品について】

■ 「Honda WN7」

Honda WN7 は、「風になる (Be the Wind)」をコンセプトに開発された Honda 初のフルサイズ電動ネイキッドモデルです。車体の中心に配置したバッテリーケースを骨格の一部とする構造を採用しています。フレームが存在しないことで、軽量化だけでなくスペースレイアウトの自由度が上がり、スリムでコンパクトな車体の実現に大きく寄与しました。

《デザインの特長》

「機能を研ぎ澄まし、本質を表現すること」を目指したデザインは、ライダーが触れるボディ部分はシームレスで滑らかな表面としながら、独創的で力強いシルエットとしました。WN7 に採用されたシグネチャーライトは特徴的な横一文字で、今後 Honda の電動二輪車の共通アイデンティティとして展開していきます。

■ 「UNI-ONE」

UNI-ONE は、ASIMO などのロボティクス研究で培った技術を活用し、座ったまま体重移動するだけで歩くように移動でき、両手が自由に使える着座型のモビリティロボットです。難しい運転操作を必要とせず、小さいお子様からご年配の方まで、幅広い年代の方が利用しやすい設計としています。

《デザインの特長》

公道や商業施設など、さまざまな環境や人に自然に溶け込む、柔らかく親しみやすい造形としました。着座した搭乗者と一体となるよう、角のない丸みのあるフォルムと、そっと隠れた車輪を採用しています。労働生産性の向上や、高齢者をはじめとする多様な人材の活躍支援など、すべての人が移動の楽しさを共有できるデザインを追求しています。

■ 「Miimo 1500i/2200i」

Miimo 1500i/2200i は「Smart Lawn Meister (スマート・ローン・マイスター)」をコンセプトに開発されたロボット芝刈機です。RTK システム^{※2} の活用により、作業エリアにワイヤーを設置することなく自動作業を可能とするワイヤレス機能を、Honda のロボット芝刈機として初めて搭載しました。取り回しの良いコンパクトなボディサイズに加え、水洗いも可能な高い防水構造により、刈刃面に直接水をかけて草や汚れを落とすことができます。また、新たに Miimo 2200i では超音波センサーを採用。障害物の回避動作のパターンを選択できる2つのモードを設定し、優れた安全性と作業性を実現しています。

《デザインの特長》

エクステリアデザインには、現代のライフスタイルに調和する上質な CMF (カラー・マテリアル・フィニッシュ) を採用するとともに、専用スマートフォンアプリには美しく直感的な UI (ユーザー・インターフェース) を採用しました。お客様の心安らぐ時間や空間を邪魔しないデザインを目指しています。

■ 「PRELUDE」

PRELUDE は、電動化時代において「操る喜び」を体現したスペシャリティ・スポーツ・ハイブリッドです。独自の 2 モーターハイブリッドシステムをベースに「Honda S+ Shift (エスプラス シフト)」を採用し、有段変速機のようなダイレクトな駆動レスポンスを実現しました。さらに、エンジン回転数と同期してスピーカーから流れる迫力のあるエンジン音と、それに協調して俊敏に反応するメーターなどにより、乗る人の五感を刺激し、ドライバーとクルマが「シンクロナイズ (一体化)」するような、爽快で意のままの走りを目指しました。

《デザインの特長》

「UNLIMITED GLIDE (アンリミテッド・グライド)」をコンセプトに、滑空するような高揚感とダイナミックな走りを予感させるワイド&ローのプロポーションを実現しました。エクステリアは、低くシャープなフロントノーズから続くクリーンなルーフラインが特長です。

インテリアは、運転席だけでなく助手席も快適な空間を目指し、運転席と助手席のシートを作り分け、運転席はホールド性を高めてスポーツ走行に適した形状とする一方、助手席はほどよく包まれるような快適さを提供します。さらに、インテリアのメインカラーである「ブルー×ホワイト」は、軽快感のあるホワイトに深いブルーでコントラストを付けたコーディネートで、PRELUDE のコンセプトを表現しています。

【株式会社本田技術研究所 常務取締役 デザインセンター担当 南 俊叙のコメント】

世界的なデザインアワードであるレッド・ドット・デザイン賞のプロダクトデザイン部門で、「Honda WN7」、「UNI-ONE」が「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しました。また、「PRELUDE」、「Miimo 1500i/2200i」が「レッド・ドット賞」を受賞し、Hondaとして7年連続での受賞となりましたことを、大変光榮に思います。これは、「移動」や「暮らし」をより良くし、世界中の人々の毎日を楽しく豊かにするという Honda の想いに、多くの皆様から共感をいただけた結果だと考えています。これからも Honda は世の中に“驚きと感動”をもたらす新しい価値を創出し、「生活の可能性が広がる喜び」を提供し続けていきます。

Honda デザインアワード 受賞歴

<https://global.honda.jp/design/work/#award>

UNI-ONE 製品サイト

<https://www.honda.co.jp/UNI-ONE/products/>

Honda WN7 製品サイト※3

<https://www.honda.co.uk/motorcycles/range/electric/wn7/overview.html>（英語）

PRELUDE 製品サイト

<https://www.honda.co.jp/PRELUDE/?msocid=0d3fac0b16556402119fbad0173065ea>

※1 レッド・ドット・デザインアワードは 1955 年に設立された、世界的に権威あるデザインに関する賞の一つ。主催はドイツ・エッセンを拠点とするノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター。プロダクトデザイン部門は 51 カテゴリーに分けられ、主に工業製品を対象に、デザインの革新性、機能性、耐久性、人間工学など 9 つの基準から審査されます

※2 高精度測位技術

※3 日本で販売されていないモデルのため、Honda Motor Europe Ltd.のサイト情報を参照しています